

飲水思源

町長 松岡 市郎

ふるさと訪問に想(おも)う

「ふるさと」という言葉が若い世代から遠くなりつつある中、東川を「ふるさと」として愛する方々に訪問していただいた。東京、札幌、そして旭川の東川出身会の皆さま方である。

訪問いただいた方々は、戦前から戦後の団塊の世代や準ずる世代の方々だ。現在、実家が東川町にある方、またたくなくなつてしまつた方、ご親戚がいる方などさまざま。

ひがしかわ東京会の顧問である中山恭子さんは「東川小学校時代を過ごした所から見ると大雪山連峰が最高心にしみついている」と語つた。

「ふるさと」にはそれぞれが思う山があり、川があり、田があり、人との出会いの記憶がある。山は旭岳と大雪山連峰、川は忠別川や倉沼川、そして広々とした稲穂が稔る田だ。今年の稲の稔りも良い。お米の検査日最初の日と重なり、収穫したての今年の新米と東川産の産物が昼食時に振舞われた。

「おいしいおにぎり3個いただいた」「カボチャも最高」「おはぎもおいしい、豆腐も...」。ふるさとの水で調理された手作りの味が格別のように感じてくれたよ

うだ。訪問者からのお話では「インターネットでお米を注文した」「東京のイベントでは是非お手伝いしたい」「良い町になっていく」「写真甲子園は有名、多くの人に話している」などのお話が寄せられた。私たちにとっては大変良い刺激になった。遠くから、近くから「ふるさと」東川町をしっかりと応援してくれている人がたくさんいることはとても心強い。

今も変わっていないが、人口がおおむね1万人未満の町は合併の対象。東川町に定住している人口は7千700人程度。しかし応援してくれる「ふるさと」支援住民は何百人もいる、と胸を張つて言えるのだ。

この「ふるさと」会員が、新たに東川町に関心のある方々などを会員として勧誘し、会員の輪を広げてくれるだろう。そして「ふるさと」がだんだんと遠くなつていく中、「お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん」の「ふるさとの心」を、孫・子の代まで伝えようとしてくれることだろう。

国でもこのようにふるさとを応援する制度を立ち上げようとしている。また「ふるさと」に対するさまざまな提言も町づくりに生かしたいものだ。

短歌

越して来てあるけあるけに誘はれる五人並んで語らうて行く
黒猫のそののそのの屋下がり紋白蝶はもつれ飛をり
庭くまに植へし隅田の花火とふあひる明るくはひけきたり
日々元氣薬も飲ます(こ)つと働く夫を誇りに思つ
いま一歩ずれてみたならどうなるかどうめぐりの虫の声聴く
御先祖の香煙ゆらぐお墓にて感謝を告げて伏して合掌
孟蘭盆は年に一度の会う瀬とも老若男女寺に集いぬ
映像に京都五山の送り火を合掌しつつみ霊送れり
良き事の先ふれなるや電線に白き鳩一羽しばし動かす
湯上がりの暗き窓辺に虫の声せわしき一日の心のみぬ
函館に毎年欠かきぬ暮参り我が身おもえどあきらめきれず
ぬけるよな青空白き浮雲にしばし見ほるる初秋の午後
ほうちん吹えるころもあるならむ甘い辛い水など不要
一列の芋の壟り堀り来る汁のまうまし我が作りしなればは

俳句

夢に來て言葉なき夕月夕夜
蛭(へん)と障子の裏に夕月夜
夕月夜火の見櫓は村の貌
夕月夜約束の時過ぎしまま
夏ばてや白い恋人つれて行く
夕月夜余命照らして雲に消ゆ
夕月夜行く人もなく里の路
颯風の見舞電話に無沙汰わび
澄む水に記憶の糸のほぐれけり
夕月夜遊びわすれし鞆ひとつ
招かるる側に席あり敬老会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|
| 松山 | 澤田 | 石澤 | 山口 | 杉山 | 徳光 | 秋山 | 宮坂 | 青野 | 小林 | 尾池 | 井山 | 岩田 | 清水 | 嶋崎 | 中田 | 矢沢 | 永江 | 笹田 | 岡澤 | 瓜生 | 松倉 | 那須 | |
| 蓉子 | 久美子 | 清宏 | 佐知子 | りつ | 吐苦 | 深雪 | 紫雲 | 公花 | 露葉 | 真沙子 | 一文 | ふじえ | チヨ | ミエ | 治子 | ますえ | 栄子 | 富士子 | 敬子 | チズ子 | 昭枝 | 和子 | 喜美 |

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



佐賀のがばいばあちゃん (映画・DVD)

島田洋七の自伝小説の映画化。極めつけの貧乏生活にあって、どんな厳しい局面でも持ち前の人生哲学で明るく切り抜ける文字通りの「がばい」ばあちゃん。そんなばあちゃんと暮らした少年とで織り成す、爽やかな笑いと涙に溢れた心温まる感動作。(104分)



アズールとアスマール (児童書)

著:ミッシェル・オスロ/刊:株式会社スタジオジブリ 金持ち領主の子アズールと、その乳母ジェナスの子アスマール。一緒に成長した二人はアズールの父親に追い出され、それぞれの人生を歩む。偶然出会った二人は幼い頃に聞かされた子守唄に出てくる伝説の妖精を探するため、また別々に冒険の旅にでる...



天平冥所図絵 (一般書)

著:山之口洋/刊:文藝春秋 華やかな外見のすぐ裏で魑魅魍魎が跋扈する平城宮で政治抗争か勃発木っ端役人の葛木連戸主まで巻き込まれ、無実の罪に問われた上、職を追われてしまう。さらに命の危機までせまり...。天平時代を舞台に、共働き夫婦が権力悪に立ち向かう爽快歴史ファンタジー。